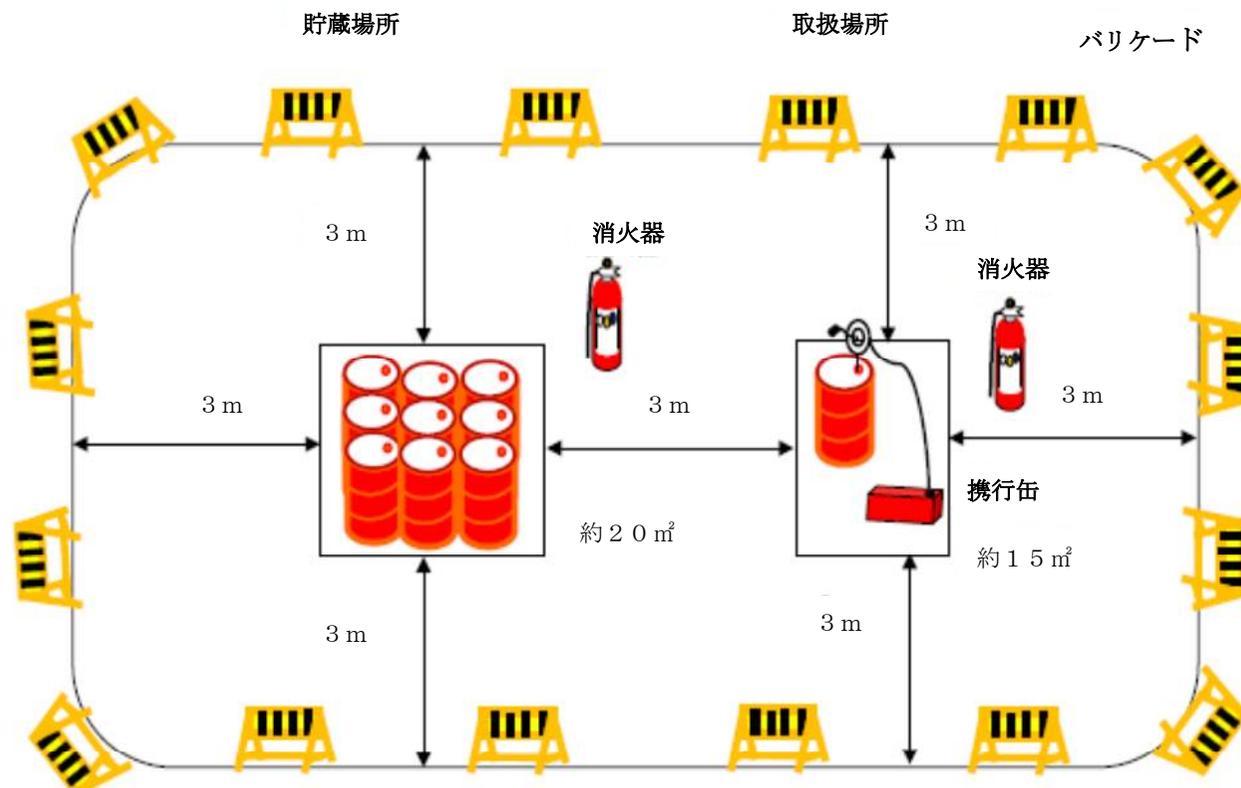


仮貯蔵・仮取扱い実施計画書作成例 3

※地域防災拠点等のドラム缶等による燃料の貯蔵及び取扱いの例

1 仮貯蔵・仮取扱い詳細レイアウト



注意事項

- ① 保有空地を 3 m 確保
- ② 保有空地の周囲にバリケード等を立て空地を確保する。
- ③ ドラム缶、給油ポンプにアースを取る。
- ④ ABC 粉末消火器 (10 型) を 2 本設置する。
- ⑤ 危険物は、貯蔵場所に金属製容器 (ドラム缶) にて貯蔵する。(最大 10 本)
- ⑥ 取扱い場所に置くドラム缶は、1 本とする。
- ⑦ 貯蔵場所のドラム缶が高温となることを避けるため、必要に応じ通気性を確保した日除けを設ける。
- ⑧ 危険物の取扱いは通風・換気の良い場所で実施する。
- ⑨ 標識・掲示板を設置し関係者に注意喚起を行う。

2 標識・掲示板 (例)



危険物仮貯蔵・仮取扱所
 危険物の類・品名・数量 (倍数)
 管理者 ○○ 連絡先 △△

- ・大きさ、縦 30 cm 以上、幅 60 cm 以上 (縦書きでも可)
- ・「火気厳禁」は、地は赤色、文字は白色
- ・「危険物仮貯蔵・仮取扱所」は、地は白色、文字は黒色